

平成29年度

武石小学校グランドデザイン

学校長の願い

- ・「学校が楽しい」と感じられる子ども
- ・「一流をめざす」子ども
- ・相手の気持ちを考えて行動できる子ども

学校教育目標

**だれにもやさしく
げんきよく
しっかり学ぶ 武石の子**

地域・保護者の願い

- ・「ふるさと武石」のよさを学び、ふるさとを愛し、ふるさとの未来を拓いていく子ども
- ・地域とかかわり合える子ども

めざす子どもの姿
☆思いやりのある子ども ☆自分を高めていける子ども

平成29年度の重点目標

重点1
にこにこ交流

重点2
もくもく清掃

重点3
ばんばん学習

【笑顔でかかわり合える】

- ◎「ふるさとの人・もの・こと」を大事に考え、精一杯かかわる。
- ◎心をつなぐ気持ちの良い挨拶
- 異年齢交流
 - ・児童会を中心とした集会、児童会祭り、ふるさとかるた大会なかよし学級の活動等
- 地域との交流
 - ・保育園や高齢者施設、せんせい畑の方々との交流
- 他校との交流
 - ・練馬区との交流（田植えや稲刈り体験）
 - ・南中文化祭に参加（合唱交流）
- ※学習ボランティアの活用
- ・昔の遊びの会、クラブ等

【心を磨く】

- ◎自問清掃を通して「自発性」を育てる。
- 自問清掃のめあて「3つの玉」
 - 「がまん玉」・・・「無言清掃」
 - 「みつけ玉」・・・「見つけ清掃」
 - 「しんせつ玉」・・・「親切清掃」
- 自問清掃から自問活動に発展
 - ・清掃を基盤に、自ら考え、判断し、行動する場を増やす。
- 道徳教育の充実
 - ・伸びてきた芽を、道徳で深化させる。
- 勤労・奉仕活動の体験
 - ・全校草取り等
- 児童会の活動
 - ・清掃委員会の呼びかけと取組

【わかる・できる・目が輝く】

- (1)授業改善を進めるための重点的な取組
 - ・授業のユニバーサルデザイン化を意識し、見通しが持てる学習課題の設定と板書の工夫。
 - ・武石ベイシック
 - ・アクティブラーニングによるグループ学習の充実
 - ・南部支会4つの約束の実施
 - ・全校ドリル15分間の設定と運用の工夫
- (2)学力の評価と検証方法
 - ・NRT 検査が、全国比率相当になるようにする。
 - ・C 調査の落ち込み項目が P 調査よりも減らす。
- (3)教職員の指導力向上に向けた校内研修の充実
 - ・全学級 Q-U 検査を行い、研修会を実施する。
 - ・専科・他学年の担任による T・T 支援を行う中で、互いの良さを学び合う。
- (4)家庭学習の充実
 - ・保護者と連携し、新しい「家庭学習の手引き」を活用する。

【全校研究テーマ】（重点教科：生活・算数）

「自信を持って自己表現する子ども」
～学習におけるユニバーサルデザインを求めて～
友と共に考え合う学習の実現に向けて全職員で取り組む

- 武石小「学校運営委員会」の充実（学校・地域・家庭の連携）
- 学校評価による見直し（保護者・児童・学校関係者アンケート等）
- 情報の公開（学校便り、学年便り、学校ホームページ等）